

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	万が一の地震や火災、風水害に備え、定期的な訓練、備蓄品の確保が必要。臨機応変な対応ができない	利用者が安全に避難できる方法や体制作り	①併設施設、またせんねん村本部との防火管理委員会の開催 ②職員の意識向上のため、教育訓練の実施 ③定期的な避難、通報、消火訓練の実施により、より実践的な訓練ができる ④非常時の備蓄品の点検・確保 ⑤地域や消防に働きかけを行い、協力体制の構築	12ヶ月
2	43 44	できる限り、トイレでの排泄を目指すとともに、便秘の及ぼす原因をスタッフが理解し、スムーズに排泄できるように支援したい	排泄パターンに沿ったケアを行うことができる。トイレに座る習慣を確立することで、トイレで排泄できるようになる	①排泄チェック表をもとに、個々の排泄パターンを把握する。アセスメント、モニタリングを繰り返し、その方に合った排泄支援方法の確立 ②排泄・排便のメカニズム、重要性を学ぶ学習会の開催	12ヶ月
3	48 49 55	利用者が安全に安心して生活できる環境作りが不十分	利用者が過ごしやすく、興味をひく環境作り	①整頓しやすい環境を作る ②利用者個々が興味を持てる余暇物品を確保し、利用者の目にとまり、また手に取りやすい収納の仕方を工夫する ③季節の変化を感じやすい掲示物	12ヶ月
4	52	共用訓間で生活する中で、人の動きや物音、温度、光等を敏感に感じとられ、混乱する場面がみられる	居心地のよい空間作り	①利用者にとっての不快や混乱をまねくような刺激はどのようなものか、学習する ②利用者の立場に立って過ごす機会を設ける ③認知症ケアマッピングの手法を用いて、実際に不快になっているものや混乱を招いている場面を把握する ④声掛けの仕方・手法を学ぶ	12ヶ月
5	25	その人の暮らしの把握と、ケア内容が統一できていない	新人職員が見てもケア内容が想像しやすいような、暮らしのシート(24hシート)を作成	①【本人】【家族】の思いを分けて記入 ②知らない人が見て、分かるように動作分割して表現・記入する ③ケアの変更点・追加点は、その都度記入できる	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。